

平成28年
8月5日発行

No.89

ろくのへ 議会だより

■編集／六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60

TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112

ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp>

Eメール gikai@town.rokunohe.aomori.jp



わーい！楽しいね！

7月5日、六戸小学校で水泳教室が行われました。プールにじゃぶんと入ると、満面の笑顔に包まれる子どもたち。はしゃぐ声がプール内に響いていました。

(場所：六戸町B&G海洋センター)

【第2回定例会】

堅実な財政運営に期待 2

【一般質問】

3人の議員が質問 4

【委員会レポート】

にんにく圃場を現地視察 6

【議会研修】

地域課題を解決する議会に向けて 9



財政運営に期待

一般会計5175万円 増額補正

6月定例会

第2回定例会が6月10日から14日までの5日間の会期で開催されました。町長から提出された案件は、28年度補正予算、条例案件など23件あり、いずれも全会一致で承認・可決しました。

一般質問には3人の議員が登壇し、理事者側の考えをただしました。主な内容は次のとおりです。

補正予算

◆ 低所得者に臨時福祉給付金ほか(2614万円)

消費税の引き上げによる緩和策で、昨年度に引き続き行われます。

◆ 農業従事者を支援(783万円)

地域農業の担い手を育成し、経営強化に取り組み際に必要となる農業用機械等の導入及び、青年者の新規就農を支援します。

◆ 町内会に支援(429万円)

宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に対しての助成です。今回は、岡沼・折茂新田・たての台団地町内会が該当します。

◆ 旧柳町小の街路樹を伐採、小学校給食配膳

室に防犯カメラを設置(併せて97万円)

財産取得

◆ 小型動力ポンプ付積載車

消火活動のために1台購入します。

・ 契約先
有限会社丸栄消機

・ 金額
1285万2千円

繰越明許*

次の事業を平成28年度に繰り越しました。

・ ネットワーク強化対応改修事業

4967万円

・ 低所得の高齢者向けの給付金事業

4490万円

・ 犬落瀬・金矢線街路2期工事
1850万円

*繰越明許費とは 年度内に支払が終わらない見込みのあるものについては、議会の承認を経て、翌年度に繰り越して支払できることをいう。

平成28年度一般会計補正予算(全会一致で可決)

会計	補正前	補正額	補正後	補正の主な内容	
一般会計	歳入 54億600万円	5175万円	54億5775万円	臨時福祉給付金給付事業費補助金	2598万円
				青年就農給付金事業費補助金	150万円
				経営体育成支援事業費補助金	633万円
				コミュニティ助成事業交付金	429万円
一般会計	歳出 54億600万円	5175万円	54億5775万円	コミュニティ助成事業	429万円
				臨時福祉給付金ほか	2196万円
				大曲小なかよし会学童保育所増築実施設計業務ほか	232万円
				経営体育成支援事業	633万円
				青年就農給付金	150万円
				旧柳町小学校環境改善工事	97万円
				小学校配膳室防犯カメラ設置工事	



堅実な

審議内容

◇ 国民健康保険病院事業

問 山本実 議員

病院から診療所に移行する時期はいつか。また、医師確保の見通しは

答 保土澤副町長

診療所化に向けての事務的な提出資料等や4月に職員の人事異動もあり、思うような状況で手続きが進んでいないのが現状です。移行のためのチームを立ち上げることも含め、スピードアップして報告してまいります。医師確保の見通しですが、診療する科目が定まれば医師確保につながるかと考えます。

◇ 新設する介護施設

問 高坂茂 議員

18名以下の指定地域密着型通所が新設されることだが、実際当町で事業を行っているのか

答 外山福祉課長

六戸町管内には現在ありません。

◇ 公共事業について

問 下田敏美 議員

政府は、景気の底上げのために公共事業の8割を9月までに契約を済ませると言っている。町の事業も国に倣うのか

答 吉田町長

私どもとしては準備が整い次第行いますので、9月までにとという線引き

◇ 小学校給食配膳室防犯カメラ設置工事

問 川村重光 議員

先般の異物混入の件が関係しての設置工事だと思いが、なぜ小学校に設置となったのか

答 吉田(英)教育課長

給食への異物混入が発生して以降、各学校には大人複数人で安全管理をお願いしている。小学校は、職員数が少ないことから、複数人での安全管理は負担を強いられている状況です。職員の負担軽減のため小学校へ設置いたします。

◇ 旧小学校の管理体制

問 苫米地繁雄 議員

旧柳町小環境改善工事

答 保土澤副町長

事務方には、できるだけ国の基準を達成できるように働きかけます。

答 吉田(英)教育課長

県では道路工事の際に不要な木はすべて伐採している。当時、記念樹が何かで町からの要望等により残したものと考えられるため、現在は町の対応となります。

問 苫米地繁雄 議員

旧柳町小校舎だが、現在の状況をみると屋根の補修をするなどの管理をするか、壊すならば早急にすべきでは

答 保土澤副町長

小学校の屋根は、地元から塗装をして欲しいという要望が教育課にありました。今後、旧学校施設全体をどのようにするのか、集落、地域と協議をしていきます。

問 苫米地繁雄 議員

旧昭陽小の敷地に不法投棄の仮置き場として利用しているそうだが、誰

でも入れる状況にある。なぜ施設しないのか

答 川原町民課長

チェーンもしくは鍵で早急に対応します。

意見書・可決

◇安全・安心の医療・介護を求める意見書(全会一致)

平成27年度各会計補正予算(いずれも町長が専決処分*し、議会で承認しました)

会計	補正前	補正額	補正後	補正の主な内容
一般会計	57億786万円	△140万円	57億646万円	事業費の確定により減額
国民健康保険事業特別会計	15億7675万円	△5265万円	15億2410万円	
六戸町国民健康保険病院事業特別会計	5億8267万円	8530万円	6億6797万円	平成27年度不良債務解消分
下水道事業特別会計	3億882万円	△114万円	3億768万円	事業費の確定により減額
農業集落排水事業特別会計	1億3650万円	△219万円	1億3431万円	
介護保険事業特別会計	14億3249万円	△2478万円	14億771万円	
後期高齢者医療特別会計	1億444万円	△80万円	1億364万円	
霊園事業特別会計	928万円	△21万円	907万円	

*専決処分とは 議会の議決を必要とする事項であっても、町長が議会を招集する時間的余裕がない等の理由があれば、議会で代わって町長の権限で処理できる。(地方自治法第179条より)



こうさか しげる
高坂 茂 議員

当町の防災対策は万全か

防災マップを平成26年に每户配布 — 町長

問 先の熊本地震並の被害が現実となった場合、どのような組織で対応するのか

総務課長 震度6弱以上を観測したときや大規模な被害が予想されるときは、町長を本部長とする対策本部で対応することになっている。

問 地震の被害予想は、断層が大きいかかわりを持つと考えられるが、わが町に断層が通っているか

町長 当町には活断層は通っておりません。一番近いところで折爪断層で、五戸町から名久井岳東側を経て、岩手

県葛巻町まで約21キロにわたっている。

問 各避難所あるいは常会への自家発電機の設定は

総務課長 19箇所の避難所がありませんが、13箇所と役場、それと消防分団の屯所に発電機と投光器を備えている。未整備箇所については順次整備をしていく。

問 避難所の表示と耐震性は

総務課長 表示は避難所玄関に表示。19避難所のうち、旧柳町小学校、旧長谷小学校、それと2つの公民館は耐震診断はされていない。



なお、七百の公民館は診断結果が出ましたので検討している。

問 避難所生活が強糧の確保はどのようになっているか

総務課長 現在防災倉庫に饮用水2リットルが318本、乾パンが880個ほど備蓄しており、それ以外は毛布、タオル、マスク、簡易トイレ等も備えている。

問 農業の後継者が減ってきている状況で、耕作放棄地が点在することが予想されるがその対策は

町長 遊休農地の所有者に対し、農業者への適正管理指導のほか、農地中間管理機構を通じて農地の貸し借りなどを推奨している。

問 農業にかかわらず地域リーダーの育成を

町長 就農意欲のある地域若者の掘り起こしを促進させるとともに、青年新規就農者同士の横のつながりを密にし、次世代を担う農業経営者あるいは地域のリーダーとして育成を図る。

問 農業経営の実態は

産業課長 収入に関しては、500万円以下の小さな経営体の減少は見られるものの、全体の販売金額は上のほうに推移していますので、全体的に農業経営は上向きと捉えている。

問 地産地消の観点からも、道の駅拡充は

町長 現在、道の駅南側集落農道を官庁街線へ接続する工事を予定しているもので、利便性が向上するものと期待している。そして拡充策については、あらゆる可能性を考えていきたい。

農業の振興策は次世代を担う農業経営者の育成を図る — 町長

農業の振興策は



たねいちまさたか
種市正孝 議員

特定健診・がん検診の 受診率向上は

ろくのへ元気アップポイント事業に期待 — 町長

問 第4次六戸町総合振興計画実施中での、特定健診と各種がん検診の受診率はどのようになっているか

町長 平成23年度以降は特定健診は、平均受診率が38・3%で、3ポイント上昇。がん検診には、平均受診率が22・6%で、3.2ポイント低下している。

福祉課長 がん検診率低下の原因は、若年層の男性の受診率が低いことが要因。

問 がん検診において精密検査を判定された方々の精密検査受診率向上への取り組みは

福祉課長 27年度から新しい事業で60歳以下の精密検査の助成事業を実施している。

町長 今年から助成額を3千円から5千円に引き上げる事にした。

問 特定健診の精密検査対象者にも助成金制度は出来ないか

町長 やってさしあげたい気持ちはありますので人数・病状などの状況を調べて検討、判断したい。

問 今後の受診率向上に向けての施策は

町長 ろくのへ元気アップポイント事業を今年度から実施し健康づくりや介護予防事業への参加の動機づけを行い、受診率の向上を図るとともに健康長寿の町を目指したいと考えている。

学校跡地にドーム型の運動場を

財源など先立つものとの相談 — 町長

問 閉校になった小学校の跡地はどのように利用、管理されているのか

教育課長 旧柳町、長谷小学校では、施設管理人より通年で管理。旧折茂小学校については、年3回程度の草刈りを実施し、旧昭陽小学校では、常駐による管理人を廃止している。

利用状況は、スポーツ少年団、子供会、無形文化財の練習や地域住民の運動場所として、選挙の際の投票所、臨時の駐車場等に利用されている。

問 古い建物である旧長谷、柳町小学校が避難地区に指定されている経緯は

副町長 耐震診断はしていないので明確には答えられないが、十勝沖地震、三陸はるか沖地震、先般の東日本大震災の地震などに耐えてきているという実績から、避難所として指定していると考えている。

今後は、旧学校施設の耐震診断の可否及び避難所としての利用の可否について、教育委員会も含め地域住民とも協議しながら対応したい。

問 今後の旧小学校跡地の活用計画は

町長 現在のところ、具体的な計画は無い。今年3月に公有財産の有効な活用を図っていくことを目的とした、

公有財産取得処分等検討委員会を立ち上げ、未利用地の活用を積極的に進めて行きたい。

問 冬季の子供達の健康維持の為に跡地を利用してドーム型の運動施設を建設しては

町長 冬場を考えると、あればいいなと思うが、非常に厳しい財政と、利用度と比べての高額な管理費など先立つものとの相談となる。新たな財源確保ということに難しい町ですが、可能性ゼロではないので調査させてもらいたい。



かわむら しげみつ
川村 重光 議員

町の後継者に 海外派遣を検討しては

希望があれば検討 — 町長

問 当町の国際交流の現状は

町長 平成5年から、おいらせ町と合同で中学生の海外派遣事業を毎年実施している。

さらに、財団法人自治体国際化協会による語学指導等を行う、外国青年招致事業を通して、町内の小・中学生に生きた英語を指導する外国語指導助手1名と、文化交流を含めた国際交流員1名を継続で招致している。

問 中学生海外派遣事業に限らず、町で活躍している後継者にグローバルな視野でスキルを高める派遣事業を検討しては

町長 実際の実務で働いている方々が他国を訪問しているんな体験をするのは、極めて有益なことだと思う。派遣について希望があれば検討したい。

問 六戸町の居住外国人の国籍、人数、また当町の対策は

町長 平成28年4月現在で、中国18人、パキスタン18人、アメリカ12人、その他7カ国14人、計10カ国62人。

外国人登録者の人数は若干増加傾向だが、総数的にあまり多くないので、特別な対応は現時点では考えていない。

問 災害や緊急時の居住外国人に対する対策が見られていないと思う。さまざまな外国語を話せる方を募って、通訳サポーターとして策を講じてはどうか

町長 協力していただける方を把握して、まずは検討したい。

問 国際交流員について、当町の居住外国人の事情を踏まえ、アジア圏から迎えてはどうか

町長 過去に中国から迎えた経緯もあったが、外国語指導助手の補充的な意味も兼ね、英語圏の人に切り替えている。

問 議会としてTPP対策、グローバルな市場の調査、国際交流などの問題解決のために、自治体国際化協会の

自治体国際化協会へ 職員派遣している意図は

国際化を視野に

職員能力の向上に期待 — 町長

問 永年、自治体国際化協会へ職員を派遣している意図は何か

町長 当町では平成17年度から19年度、現在は27年度から29年度の予定で職員を派遣している。日々多様化している国際化情勢に対応できる自治体職員育成のため、国際化に関する多様な業務を体験し、国内外に人的つながりを築くことを目的としている。

問 賛同した。現在、在職員を派遣している自治体国際化協会の本質は、相手を調べ、こちらの必要な部分をマッチングさせて交流を深めていくことが大きな役割として存在している。

単に海外に行くのではなく、しっかりとした趣旨や考えを持っていただくのであれば、町としても誇りに思う。

審議した議案と各議員の



・賛成が○、反対は×と表示しています。
 ・退は退席、欠は欠席を表示しています。
 ・円子徳通議長は採決には加わりません。

議案番号	議案名	長根一男	種市正孝	杉山茂夫	久田伸一	高坂茂	下田敏美	川村重光	河野豊	母良田昭	山本実	苫米地繁雄	審査結果	議決日
報告1号	専決処分の報告 損害賠償の額の決定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	
報告2号	専決処分の報告 損害賠償の額の決定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	
報告3号	平成27年度六戸町繰越明許費繰越計算書	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	
承認2号	専決処分の承認 六戸町税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認3号	専決処分の承認 六戸町承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認4号	専決処分の承認 六戸町固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認5号	専決処分の承認 平成27年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認6号	専決処分の承認 平成27年度六戸町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認7号	専決処分の承認 平成27年度六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認8号	専決処分の承認 平成27年度六戸町国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認9号	専決処分の承認 平成27年度六戸町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認10号	専決処分の承認 平成27年度六戸町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認11号	専決処分の承認 平成27年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認12号	専決処分の承認 平成27年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認13号	専決処分の承認 平成27年度六戸町霊園事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
議案32号	六戸町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案33号	六戸町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案34号	六戸町介護保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案35号	平成28年度六戸町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案36号	平成28年度六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案37号	平成28年度六戸町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案38号	平成28年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案39号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
陳情1号	安全・安心の医療・介護の意見書を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
発議1号	安全・安心の医療・介護を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

ほしゅう
にんにく圃場視察 —産業民生常任委員会 現地視察—

6月22日(水)、産業民生常任委員会は、産業課、JAおいらせ指導課の案内で、町内3か所のにんにく圃場を視察しました。

今年のにんにくの肥大状況や掘り取りの進捗状況を生産者の皆さんから聞き取り調査を行いました。

今年は春からの消雪が早く、生育も順調に進み、肥大もよく掘り取りも例年より早く進んでいるということでした。農家からは今後、「大玉日本一」の生産を守るため優良種子の助成金をお願いしたいとのことでした。

今後も、良質にんにくの生産を目指し、六戸町農業活性化に取り組んでいただけるようお願いをしました。
 (長根 一男)



生産農家から生の声を聞く

これからの政局・政治動向を学ぶ



今後の議員活動の参考に



ポイントを押さえる確に話した川村氏

7月14日、県内の町村議会議員を対象とした議員研修が青森市で行われました。テレビ朝日コメンテーターの川村晃司氏を講師に迎え、これからの政治動向について学びました。

川村氏は、7月10日に実施された参議院議員選挙の結果から考える政局をマスコミの観点から、有権者が何を求めるのか、政治家に求められる人間力の重要性を話していました。

議会を傍聴してみませんか?

Let's Go!!



役場内の階段で4階へ。



これからの町のことを話し合う場、それが議場です。どんなことを審議するのか、傍聴してみませんか?



傍聴受付で記入したら、入場できます。



本会議中は1階のロビーのテレビでも中継しています。



傍聴席からはこんな感じですよ。



席は自由席です。バリアフリー対応となっています。

対話の機会を増やし、対話を政策に —六戸町議会議員研修—

六戸町議会議員研修会を6月23日(木)2F大会議室において開催しました。

この研修は六戸町議会基本条例に基づく研修会です。講師にはいつもご指導いただいている青森中央学院大学経営法学部准教授の佐藤 淳先生にお願いしました。班に分かれての対話も含め2時間以上の充実した研修でした。

全国で議会基本条例を制定している議会は46%ありますが、真の議会改革に取り組んでいる議会は数少ないと聞かされました。

議会のための議会改革(自己満足型)ではなく地域課題を解決する議会(住民の役に立つ議会)を目指します。また、対話の機会を増やし対話を政策に繋げていくよう議員全員で努力してまいります。

総務常任委員会 委員長 河野 豊



先進事例を学び、次へつなげる



3月17日、意見交換会で使用した模造紙の意見を一件ずつ検討

総務常任
委員会では…

2月27日に町就業改善センターで行った「町民と議員との意見交換会」では、町民の皆さんから出たたくさんの意見の一つずつ内容を検討しました。(検討した内容は前号でご紹介しています。)

総務常任委員会では、今後、町民の皆さんと一緒にやる意見交換会を企画してまいります。また、意見交換会の内容や結果は議会だよりで皆さんにご報告いたします。

議会のびらき (28年3月～28年5月)

- | | | |
|---|--|--|
| <p>10日 六戸町戦没者追悼式</p> <p>4日 *太素祭典</p> <p>5月</p> | <p>6日 交通安全祈願</p> <p>8日 三者合同歓迎会(町教育委員会)</p> <p>12日 *六戸町観光協会総会</p> <p>15日 *六戸町教育講演会</p> <p>17日 *東京六戸会総会</p> <p>23日 舘野公園山開き</p> <p>26日 全員協議会</p> <p>4月</p> | <p>31日 議会広報委員会</p> <p>23日 議会広報委員会</p> <p>14日 議員県外研修(～15日) 岩手県紫波町</p> <p>10日 議会広報委員会</p> <p>10日 全員協議会</p> <p>9日 別会計)</p> <p>8日 予算特別委員会(一般会計)</p> <p>4日 第1回六戸町議会定例会(～10日)</p> <p>3月</p> |
|---|--|--|



4月17日、東京で行われた東京六戸会総会懇親会の様子。故郷の話で盛り上がりを見せた

- *印は議長のみ出席
- | |
|--|
| <p>30日 第41回全国町村議会典</p> <p>27日 上北郡町村議会議長会第1回定例会</p> <p>25日 *六戸町商工会通常総会</p> <p>24日 *青森県鉄道整備促進期成会総会</p> <p>23日 上北郡総合体育大会 結団式</p> <p>19日 上北郡町村議員研修</p> <p>13日 *県町村議協会理事・監事合同会議</p> |
|--|

町民の声

さまざまな分野で
がんばっている人

町民の皆さんがさまざまな分野でがんばっています。今回は、盛田嘉彦さんにお話を伺いました。

青森シヤモロツク ザ・プレミアム#6

盛田 嘉彦さん

プロフィール(もりた よしひこ)

南町(二)地区在住。49歳。同地区で両親から受け継いだ飲食店を経営。六戸まつりなどの行事の企画や運営に携わり、精力的に活動してきた。今年4月には町観光協会の会長に就任。県と、町シヤモロツク生産組合、六戸ブランド研究会がタッグを組み、新しい特産品の目玉を目指す「ザ・プレミアム#6」の売り出しに奮闘している。妻と2人の子どもの4人家族。



堂々と答えられるような
特産品づくりを目指して

―観光協会新会長として
の方針は

盛田：六戸町の特産品は？と聞かれた時に、堂々と「ザ・プレミアム#6」と答えられる特産品を作りたいです。

―真の特産品(ブランド)作りとは

盛田：商品を作って特産品として売り込むのは本当のブランドではなく、町の皆さんが理解して、町の皆さんに愛される商品こそがブランドと考えます。

―ザ・プレミアム#6のPRは

盛田：町の皆さんに町内飲食店で食べていただき、町の皆さんが町の魅力を発信する最高の「営業マン」としてPRしていただくかと思っています。

―六戸ブランドとして
目指す目標は

盛田：ザ・プレミアム#6が売れることによって、町の最大の特産である根菜類を全国にPRし、ベジタランド王国の充実を図りたいです。

―まつりなどのイベント
の企画や運営から町の
観光まで広範囲で活動
されていますが

盛田：ばらばらにやっているように見えますが、私の中では一つなんです。一つのことをやって連携して、それが全てつながっているだけなんです。要はどれだけ町の皆さんを巻き込み、「一緒に何かをやるか」なんです。

聞き手 杉山委員長
種市副委員長

編集後記

18歳選挙権が参議院議員選挙で初めて適用されました。政治について考える、良い機会ではなかったでしょうか。
皆さんは、政党や候補者に何かを託して一票を投じたと思います。政治家がよく使う言葉に「負託」があります。

あるコラムに「負託と付託」について載っていました。国語辞典には「付託」は頼んで任せること(具体的要求がともなう)、「負託」は引き受けさせて、任せること(具体的要求がない)と書いてあります。皆さんも「ふたく」について考えてみませんか。
広報委員会では、多くのへ議会だよりをとおして、町民の皆様にも議会の出来事を簡潔にお知らせするよう努めていきたいと思っております。

議会広報委員会

- 委員長 杉山 茂夫
 - 副委員長 種市 正孝
 - 委員 河野 昭
 - 川村 重光
 - 高坂 茂
- 発行責任者 長 円子 徳通

取材ごぼれ話

盛田さんは4年前に体内の免疫システムに異常をきたす難病「ギラン・バレー症候群」を発症し、一時は寝たきりで呼吸困難に陥り、完全に死を意識したそうです。その後奇跡的に回復。

病気を乗り越えたことにより、「価値観がガラッと変わった。朝起きて、自分の足で歩けた時点で幸せを感じます。普通に生活できることが奇跡。」と語っていたのが印象的でした。(取材日：7月11日)



青森シヤモロツク
※ザ・プレミアム#6
(ナンバーシックス)とは
県産技術センター畜産研究所が開発し、従来の青森シヤモロツクより飼育期間を延ばし、特別飼料を与え、うま味とかみ応えの強さが特徴。県内では、町シヤモロツク生産組合のみで生産している。